



安全データシート

Page 1 of 7

LOCTITE 3D IND405 HDT50 HI ELONGATION CLEAR

SDS No. : 682229

V001.0

改訂: 08.01.2021

発行日: 25.01.2021

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 2699186
製品名 : LOCTITE 3D IND405 HDT50 HI ELONGATION CLEAR

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性（長期間）	区分 3

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:	H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319 強い眼刺激。 H401 水生生物に毒性。 H412 長期継続的影響により水生生物に有害。
安全対策	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	>= 20 - < 30 %
メタクリル酸イソボルニル	>= 20 - < 30 %
ジフェニル (2, 4, 6-トリメチルベンゾイル) ホスフィン=オキシド	>= 1 - < 10 %
2-ヒドロキシ-4-n-オクチルオキシベンゾフェノン	>= 1 - < 10 %
変性メタクリレート	>= 0.1 - < 1 %
2官能アルファヒドロキシケトン	>= 0.1 - < 1 %
光安定剤	>= 0.1 - < 1 %
トリアクリレートエステル	>= 0.1 - < 1 %
2, 6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	>= 0.1 - < 1 %
脂肪族ウレタンメタクリレート	>= 50 - <= 60 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	直ちに多量の水で（可能であれば石けんと）洗うこと 汚染された衣類や靴を脱ぐこと 再使用する場合には洗濯をすること 医師の診察を受けること
-------------------	---

眼に入った場合：	直ちに流水で15分以上、まぶたをよく開いて眼球・まぶたの隅々まで良くいきわたるように洗うこと。 医師の診察を受けること
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないこと 意識の無い場合口から何も与えてはならない 医師の診察を受けること
吸入した場合：	空気の新鮮な場所へ移動させること 呼吸をしていない場合は、人工呼吸をする 呼吸が困難な場合、酸素を与えること。 医師の診察を受けること

5. 火災時の措置

消火剤：	水スプレー（霧）、泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。 多量水噴射を使用しないこと。
火災時の分解物質：	炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。
保護具：	自給式呼吸器および出勤服の様な全身保護服を着用すること。 火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項	製品が下水または排水溝に入らないようにすること。
除去方法：	全ての点火源を排除すること。 流出したエリアから避難して換気すること；水道に入らないよう堤防を作ること；清掃中は十分な保護具を着用すること。 不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。 可能な限りすくい取ってください。 廃棄するまで密閉できる容器に隙間を空けて入れ保管する。 除去作業を行う時は、第8項の暴露防止及び保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	適切な換気装置下で使用する。 眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。 使用後はよく洗うこと。 容器は密閉しておくこと 第8項を参照すること。
保管：	しっかりした換気／排気を確保すること。 容器をしっかり密封しておくこと。 技術資料を参照すること

8. 暴露防止及び保護措置

保護具：

呼吸用保護具：	曝露許容限度を上回る潜在性がある場合、NIOSH 認可の呼吸マスクを着用する。
眼の保護具：	安全ゴーグルまたは側板付き安全眼鏡 飛び散ったりする可能性がある場合は、フルフェイス型の保護マスクを着用すること。 安全シャワーおよび洗眼所が利用できるようにすること。
皮膚及び身体の保護具：	耐薬品性で、手袋とエプロンかボディースーツのどちらかを含む不浸透性衣類を着用し、皮膚接触を防止する。 ネオプレン製手袋

9. 物理的及び化学的性質

形状：	液体
色：	透明
臭い：	アクリル
形状：	液体
色：	透明
臭い：	アクリル
pH：	該当なし
引火点：	> 93 ° C (> 199.4 ° F)
比重：	1.09 - 1.22
比重：	1.09 - 1.22 g/cm ³

10. 安定性及び反応性

安定性：

化学的反応性：

強還元剤
ラジカル開始剤
不活性ガス
脱酸素剤
強酸化剤
アミン、強アルカリ
反応性金属類
強酸、強塩基
鉄
さび
過酸化物

避けるべき条件

温度および直射日光への曝露
熱、ガス、火花および他の点火源。
不適合物質とは離して保存すること。
紫外線
粉塵形成を避けること。

危険有害な分解生成物：

炭素酸化物
窒素酸化物
刺激性の有機蒸気。

11. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A		
	皮膚感作性	区分1		
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィン=オキシド	皮膚感作性	区分1B		
	生殖毒性	区分2		
2-ヒドロキシ-4-n-オクチルオキシベンゾフェノン	皮膚感作性	区分1		
変性メタクリレート	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2B		
	皮膚感作性	区分1		
2官能アルファヒドロキシケトン	生殖毒性	区分2		
光安定剤	皮膚感作性	サブカテゴリ1A		
トリアクリレートエステル	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A		
	皮膚感作性	区分1B		
脂肪族ウレタンメタクリレート	分類の必要なし			

1 2. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
メタクリル酸イソボルニル	水生環境有害性 短期（急性）	区分2
	水生環境有害性（長期間）	区分3
ジフェニル（2, 4, 6-トリメチルベンゾ イル）ホスフィン=オキシド	水生環境有害性 短期（急性）	区分2
	水生環境有害性（長期間）	区分2
光安定剤	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性（長期間）	区分1
トリアクリレートエステル	水生環境有害性 短期（急性）	区分2
2, 6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレ ゾール	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性（長期間）	区分1

1 3. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法：

下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法：

使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認
された埋め地に処理するか焼却する。

1 4. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

危険物には該当しない。

Air transport IATA:

危険物には該当しない。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物

2, 6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール

消防法

第4類引火性液体, 第4類 第3石油類（非水溶性）

毒劇物法：

該当しない

PRTR 法：

該当しない

1 6. その他の情報

発行日：

25. 01. 2021

問い合わせ先：

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意:

この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

SDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び
規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-
1771